

中日本航空専門学校との産学官連携協定調印式

中日本航空専門学校との産学官連携協定調印式を平成 20 年 1 月 25 日に開催し、各務原市、各務原商工会議所、中日本航空専門学校の三者で連携協定を締結しました。

- 日 時 平成 20 年 1 月 25 日（金）10 時 00 分から 11 時 00 分
- 会 場 各務原市役所 3 階第 1 応接室
- 出席者 学校法人神野学園理事長、中日本航空専門学校長、各務原市長、各務原商工会議所会頭

○ 当日の様様

（各務原市）

- ・ 本市には、航空機産業に携わる企業が数多く立地しており、その集積は他市よりも強い。日本でも有数の航空機教育を行っている学校と連携できたことは、市内企業への優秀な人材の確保につながり、本市にとって大きな強みになる。
- ・ 航空機産業は成長産業であり、今後の産業を支える子供たちに対して、航空機に対する教育を行う必要がある。当市には、航空自衛隊やかかみがはら航空宇宙科学博物館というベースがあり、これらを活かした教育を行っていききたい。

（中日本航空専門学校）

- ・ 航空機産業の集積が強い各務原市と連携をすることができたことは、就業の面でとりわけ大きな意義を持つ。学生の就職の入り口ともなるインターンシップを商工会議所と連携を密に取りながら行いたい。
- ・ 航空機産業が発展するためには、地域の若年者に航空機への興味を持ってもらえるような広報活動が必要である。「かかみがはら航空宇宙科学博物館」や航空機関連企業を擁する各務原市において、広報活動を行うことは非常に効果的である。
- ・ ものづくりよりも先に人づくりを行っていかなければならない。良い人材を育てればものづくりは出来る。本校の持つ人材やノウハウを、ポテンシャルの高い各務原市へ注ぐことで、各務原市の航空機産業を発展させていきたい。

（各務原商工会議所）

- ・ 少子高齢化が進む中で、海外企業と対等に渡り合うためには、企業の持つ応用技術はもちろん基礎技術力を高める必要があり、若年層の人材育成が重要となってくる。今回、中日本航空専門学校と連携を結ぶことで、航空機産業に限らず様々な分野での優秀な人材の確保が期待でき、市内企業の技術力の底上げにつながる。
- ・ インターンシップの具体的な方法等については、商工会議所が仲介役となり、企業ニーズを把握しながら進めていきたい。

